

GOVERNOR'S Monthly Letter 12



Rotary
District 2510



2016-2017年度国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」



国際ロータリー第2510地区 2016-2017年度地区目標

- 全クラブがMy Rotaryに、登録しロータリー・セントラルで目標を設定して下さい。
- 地区財団活動資金(DDF)の少なくとも20%以上をポリオプラスに寄贈する。
- ロータリー財団100周年を記念し、年次基金への寄付を前年度より5%増やす努力を。
- 地区全体の会員数を3%増やす努力を。

魅力あるクラブづくりで会員増強を

CONTENTS

- | | | | |
|----------------------|----|----------------------------------|----|
| ●ガバナーメッセージ | 1 | ●米山記念奨学会・ロータリー財団寄付/ハイライトよねやま200号 | 15 |
| ●「ロータリーの友」について | 2 | ●新会員のご紹介/計報/札幌大通公園RC例会変更 | 16 |
| ●ローターアクト地区協議会報告 | 3 | ●ロータリーコーディネーターNEWS | 17 |
| ●地区大会を終えて | 4 | ●地区カレンダー | 18 |
| ●ガバナー公式訪問報告 | 8 | ●出席率・会員数 | 19 |
| ●長万部災害避難場所にソフトベンチ寄贈 | 13 | ●表紙の説明/文庫通信 | |
| ●米山奨学生のご紹介・米山梅吉記念館便り | 14 | | |

公式訪問報告 その3



国際ロータリー第2510地区

2016-2017年度ガバナー **武部 實**
(札幌南RC)

先月号で「地区大会に感謝です」の内容を掲載させて頂きましたので、公式訪問の報告が途絶えておりました。12月号より記憶を思い起こしながら公式訪問の報告を続けたいと思います。最後の公式訪問先は10月24日札幌南ロータリークラブでした。札幌南ロータリークラブの公式訪問については最終回で詳しく報告させて頂きます。

ホームクラブ以外の最終訪問先は台風で日時変更になった森ロータリークラブでした。森ロータリークラブは年1回2つのライオンズクラブと青年会議所が合同例会を実施するなど大変開かれたロータリークラブでした。しかしとても信じ難い場面がありました。私の卓話が始まって間もなく一人の会員がタバコを吸い始めました。その後も卓話が終わるまでスマホを手に一生懸命に何かをしていました。そのことを知っていた会員は私と同じく辛い気持ちであったと思います。このようなことを書くことに異論の方もいると思いますが、このようなことをオブラートに包んでしまっているのは一歩も前に進みません。あえて書きましたが、森ロータリークラブは仲間意識の強い地域に必要なクラブであることは確かです。

7月27日倶知安ロータリークラブ公式訪問

まで戻ります。倶知安町は国際都市に変貌するニセコエリアの中心です。倶知安ロータリークラブの会員にその自覚が大きく育っているような気が致しました。その事業例は「ニセコエリアの観光案内を英語によるスピーチ」を高校生によってコンテストしていただくものでした。日本は益々観光に力を入れていくと思われれます。北海道の観光客数も大きく伸びると思えますが英語圏よりアジア圏の観光客が益々多くなると思えます。観光が産業の中心的市町村のロータリークラブは是非参考にしては如何でしょうか。

えりもロータリークラブの会員数は現在17名です。町長、副町長、教育長、商工会議所会長等町内の有力者がロータリアンでした。そのことに「皆さん方は気が付いていないかもしれませんが、そのことが会員増強の壁になっているのではないかと申し上げました。同じ様なクラブが多数ありますが、ロータリーが素晴らしいからと口説いても会員増強にはならないと思います。「この町の将来をどうするのか、若い君たちの意見を聞かせてほしい」と若い人達の活動の場を共に考えていくことが「地域と共に」です。

つづく



「ロータリーの友」について

ロータリーの友委員会

地区代表委員 **松原良次**
(札幌南RC)

昭和27年7月日本のロータリーが東西2地区に分割されたため、両地区での情報共有を目的に雑誌を発行することになり、昭和28年1月に「ロータリーの友」が創刊されました。創刊号は横組みでしたが、昭和47年1月号から現在のように横組みと縦組みの体裁となりました。昭和50年7月号からは国際ロータリー(RI)の公式地域雑誌となり、現在はロータリー地域雑誌と呼ぶことになっています。RI本部で編集、発行している機関誌「The Rotarian」と30の地域雑誌を合わせて「Rotary World Magazine Press」と言いますが、ロータリアンはこのどれかを購読する義務があります。

ロータリー地域雑誌には守らなければならない規則がいくつかあり、毎年7月号の表紙には新年度のRI会長の写真を掲載すること、「The Rotarian」の記事の中から指定された記事を転載すること(RI指定記事のロゴが入ります)などです。現在横組みにはRI指定記事、関心の高いテーマの特集記事などロータリー地域雑誌としての公式的な記事、縦組みには日本のロータリアンの架け橋となるような記事を中心に投稿記事などを掲載しています。本年度は横組みには来年6月ロータリー財団が100周年を迎えることを祝って、本年7月号から毎月ロータリー財団に関する記事を掲載しています。縦組みには「クラブを訪ねて」で各地のロータリークラブを訪問し、会員やクラブ活動について紹介をしています。なお平成14年7月号に雑誌のサイズがA4変型版となりましたが、本年7月号からはさらにA4版に変更となっています。

以前は「ロータリージャパン」として作成していたホームページを「ロータリーの友」としてリニューアルいたしました。平成25年4月の規定会議で米国とカナダ以外の会員も印刷版と電子版との選択が可能となりましたので、それに伴い「ロータリーの友」は平成26年1月号から電子版の配信も始めました。電子版をご覧いただくにはIDとパスワードが必要です

ので、ご不明の場合は各クラブ事務局にお問い合わせください。また同ページに「投稿フォーム」も掲載いたしましたので、「友愛の広場」「ロータリーアットワーク写真編」「ロータリーアットワーク文章編」「わがまちの味」の投稿にご利用いただけます。

会員の皆様から多くのご投稿をお待ちしていますが、その際に気を付けていただきたい点を述べさせていただきます。会員に興味を持って読んでいただくにはよい写真が大きなポイントとなります。単なる集合写真や記念写真は掲載されませんので、活動の様子がよくわかる生き生きとした動きのある写真をお送りください。原稿は投稿規定にしたがってお書きいただき、活動後1か月以上経過した原稿は掲載されないことになっていますので、活動日を必ず記載してください。なお掲載された写真や記事は著作権で保護されていますので、クラブの会報やホームページへの転載などを希望される場合にはロータリーの友事務局までご相談ください。

「ロータリーの友」はRIの規定によりロータリー地域雑誌に設置を義務付けられているロータリーの友委員会の全般的な指導、監督のもとに制作されています。同委員会は現在清水良夫委員長、副委員長、RI理事、RI理事エレクト、特別顧問、顧問、地区代表委員により構成されています。編集、出版の実務に携わっているのは一般社団法人ロータリーの友事務所で、社員、理事会とともに、渡辺誠二所長、二神典子編集長、野崎恭子副編集長はじめ編集と経理の職員が従事しています。筆者は第2510地区の地区代表委員として、委員会への出席、レポートの提出、地区クラブ活動に関する情報提供などを行っています。今後とも「ロータリーの友」が会員相互の情報共有に少しでもお役に立てるよう努力してまいりますので、会員の皆様のいっそうのご協力をよろしくお願い申し上げます。



ローターアクト地区協議会報告

地区ローターアクト委員会

委員長 **石山嘉治**
(森RC)

10月22日赤平RACのホストにより第44回地区協議会が芦別温泉スターライトホテルで開催されました。国立ガバナーエレクトをお招きし提唱クラブである赤平RC高江会長を始めロータリアン18名、アクター32名が集まりました。アクターでは第2500地区釧路北、網走、帯広からアクターにも参加をいただきました。今回の地区協議会は「TRY」をテーマとして、パネルディスカッション、グループディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは石川直前代表が進行役として、パネラーに三浦地区代表、吉田地区代表エレクト、小野寺赤平RAC会長、汪千歳RAC直前会長がクラブ運営や地区運営についての取り組みや意気込みあるいは悩み、迷いなどを意見交換することで今後地区役員候補となるアクターに地区やクラブを取りまとめる指導力の重要性を問いかけました。引き続き行われたグループディスカッションではクラブ役職ごとにテーブルにつき情報共有や様々な意見交換があり、第2500地区のアクターが取り組んでいる事業説明を聞いて大いに刺激を受けたようで、熱心に耳を傾けていました。他地区の情報を得たことで今後の地区内各ローターアクトクラブの活動に期待しております。また役職の役割や与えられた任務遂行の重要性を参加した皆さんが再認識できたのではと思います。

グループディスカッションの締めくくりとして、今年の目標を模造紙に記入し発表致しました。石川直前代表が掲げた報連相「報告・

連絡・相談」は組織内で十分な意思疎通を図ることで地区内・クラブ内の活性化を図ってきたわけですが、今回はもう一度その浸透を意図したものでその成果は達成できたと思います。

今年度三浦ローターアクト地区代表が掲げた地区ターゲット「One for all, all for one」これはラグビーの合言葉だそうで「一人はみんなのためにみんなは一人のために」また「チームワークも重要だが一人一人が助け合うことも必要だ」。そんな思いを込めた地区ターゲットでスタートしました。今回の地区協議会はアクターの連携によって地区協議会成功に見事「TRY」を決めました。「TRY」は試す、挑戦する。の意味もありアクターが自ら考え行動することはローターアクトの基本方針である「指導力開発・専門知識の開発・奉仕プロジェクト」の実現に不可欠であり地区協議会で学びあったことは地区内ローターアクトクラブ運営に役立つものと思います。

メインプログラム終了後は今回のホストクラブである赤平ローターアクトクラブの余興を楽しみアクター・ロータリアンが円卓を囲み、和洋中折衷料理に舌鼓を打ち、美酒を堪能致しました。





地区大会を終えて

地区大会実行委員会

委員長 **今井 國雄**
(札幌南RC)

ホストクラブの地区大会実行委員会を代表して、御礼のご挨拶を申し上げます。先日の地区大会は、武部實ガバナーのもと、盛大に開催されました。会員の皆様をはじめ、関係各位の皆様には、何かとお忙しい中、ご登録並びにご出席頂き、まことに有難うございました。特に、小船井 修一RI会長代理ご夫妻には、遠路はるばるお車でお越しいただき、恐縮致しております。

また、RI会長代理 小船井 修一様には、ご挨拶で大変貴重なお話を賜り大変勉強になりました。今後共、ご指導の程お願い致します。

そして、地区指導者育成セミナーでは、RI第1ゾーンロータリーコーディネーター酒井 正人パストガバナーより「クラブリーダーの役目」のテーマで基調講演をいただきました。引続きのご講演は財界さっぽろ代表取締役社長 舟本 秀男様より「地域のつながり～先覚者の地域開拓に学ぶ～」のテーマで明治時代以前の北海道開拓の歴史を勉強させていただきました。

2日目の本会議では御来賓の北海道知事 高橋 はるみ様、札幌市長 秋元 克広様にご挨拶をいただきました。午後の記念講演では、ミズノ株式会社社長 第2580地区パストガバナー 水野 正人様より「日本ロータリー100年と2020東京五輪のレガシー」のテーマでご講演いただきました。

特に札幌市に於かれましては2026年冬季

オリンピック、パラリンピックの招致を目指しております上で、大変貴重なアドバイスとサゼーションとなったものと思います。本年は、リオでオリンピックが開催され、日本選手の大活躍もあり、タイミングの良いご講演となったのではないかと感じております。

また、水野 正人パストガバナーはとりわけ最近の国際ロータリーに関して、動向に詳しく、貴重なお話を賜りました。今後の水野正人パストガバナーのご活躍にご期待申し上げます。

さて、締めとしての記念懇親会ならびに、お料理や雰囲気はいかがでしたでしょうか？

今回の地区大会のこだわりの一つに「食」が大きなウェイトとなっております。レストラン・モリエールの中道 博オーナーシェフ自ら陣頭指揮され、札幌パークホテル田辺総支配人のもと、一致団結され推進されました。関係各位の皆様には感謝の一言です。

また、この場をお借り致しまして何かと行き届きの点が多々あったのではないかとと思いますが、どうぞその節はロータリーの友情と寛容の精神でお許し願いたく存じます。

お陰様で地区大会期間は3日間とも天気にも恵まれ、順調にスケジュールが進行出来ました。皆様方の日頃の精進の賜物と思います。

以上をもちまして、地区大会の終えてのご挨拶とさせていただきます。

第1日
10月1日(土)

会長・幹事会



今井國雄 地区大会実行委員長



小船井修一 RI会長代理

地区指導者育成セミナー



酒井正人 RI第1ゾーンロータリーコーディネーター



舟本秀男 財界さっぽろ代表取締役社長



真剣に講演を聞く会員

RI会長代理歓迎晩餐会



武部ガバナー挨拶



ロータリーソング「手に手つないで」

第2日目
10月2日(日)

本会議



高橋はるみ 北海道知事



秋元克広 札幌市長札幌市長



芮 榮東 RI第3700地区総裁

記念講演



ミズノ株式会社社長
水野正人 第2580地区パストガバナー



記念講演を聞く会員

記念懇親会



中道博 モリエールオーナーシェフ



フランス料理フルコースに舌鼓を打つ

記念ゴルフ大会



並行プログラム



青少年・学友・RYLAプログラム



グループディスカッション



ザジュエルズにて昼食



スパウズプログラム 藻岩山山頂にて

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

江差ロータリークラブ 8月23日

公式訪問日の前日夜に江差入りした武部實ガバナー、橋本地区代表幹事、佐藤地区副代表幹事が到着し、第11グループ増田ガバナー補佐と共に、用意したお店で友好を深めた。

8月23日(火)例会場にて午前10時から武部ガバナー、増田ガバナー補佐を交えて、会長・幹事懇談会、当クラブの事業、そして現状報告がなされた。

午前11時からのクラブ協議会では各委員長より活動報告がなされ、当クラブが20年以上前から行っている植樹事業、職業奉仕事業の説明、継続を確認した。

休憩後午後12時30分から橋本地区代表幹事、佐藤地区副代表幹事を交えて総勢14名の通常例会を開催した。武部ガバナーの卓話に聞き入り、終始和やか雰囲気での例会が終了した。その後、我がクラブが植樹事業をしている馬場山「ロータリーの森」へ案内し、栗197本、梅57本の視察をしていただき、次のクラブの公式訪問地に向かわれました。



札幌モーニングロータリークラブ 9月21日

前日火曜日よりの会長・幹事懇談会、クラブ協議会に引き続き、9月21日(水)午前7時30分からセンチュリーロイヤルホテルに武部實ガバナー、竹原巖ガバナー補佐、橋本耕二地区代表幹事に訪問いただきガバナー公式訪問例会が行われました。当クラブ会長・幹事から、クラブの特徴と活動内容を改めて説明した後、ガバナーからは、ロータリーの魅力は年代を超えた友人ができること、友人ができることにより、有形無形のメリットがある。また、地区会員数減少傾向に対して、地区・委員会の統廃合により無駄を省き、各クラブの連携強化を図りたい。今年度のロータリー財団は人道支援に重点を置きたい旨お話をいただきました。前日のクラブ協議会でロータリー財団における当クラブの根幹事業であるカミネコン植樹のあり方について、熱く語り合った結果、例会ではお互い握手をしながら、検討を讃えあったような結果となりました。



浦河ロータリークラブ 9月27日

ガバナー公式訪問が9月27日(火)に浦河ロータリークラブの例会場である浦河ウエリントンホテルにて、武部ガバナー、不動ガバナー補佐、橋本地区代表幹事をお迎えして行われました。前日の26日に浦河に前泊されると聞き、お疲れと思いましたが浦河町のJRAの施設見学後、夜には懇親会を企画致しました。

日本国内最大規模の競走馬育成施設と浦河町の雄大な自然を観ていただき、武部ガバナー、同行幹事様たちにも非常に喜んでいただきました。懇親会においても武部ガバナーと気さくに会話していただけたことは、貴重かつ有意義な時間を過ごせたと感謝しております。

公式訪問の27日におかれましても、会長・幹事懇談会では、クラブ細則を変更して会員数に合わせた各委員会組織をスリム化する事、会員増強についての具体的な手法について意見を頂戴し、非常に勉強になる内容のご指導を受けました。クラブ協議会については、各委員会から活動計画を説明させていただき、ガバナーから委員会の奉仕活動の在り方について、他のクラブの凡例を用いながら分かりやすいご教授を受けました。その後の例会では、ガバナー卓話を拝聴し、「財界さつぼろ7月号」の掲載資料をもとに地域活動を通じての奉仕活動や会員増強について等のお話を具体的にいただきました。例会終了後、全員で記念撮影を行い、終了することができました。非常に多忙な中、当クラブに訪問いただき、誠にありがとうございました。



苫小牧北ロータリークラブ 9月27日

公式訪問は、武部ガバナーと渡邊ガバナー補佐、橋本地区代表幹事のご来訪をいただき、9月27日(火)の午後4時から行われました。

まず会長・幹事懇談会が開催され、当方は、岡田会長、豊田エレクト、保科クラブ会報委員長及び幹事の山崎で対応させていただきました。

冒頭当クラブ会長からクラブの活動状況をご報告し、特にRCCと会員増強についてご指導をいただいております。続いてのクラブ協議会においても、各委員長の計画についての発表の後、要所について明快なご助言をいただき、今後のクラブ活動の活性化に寄与するところ大であると感謝する次第です。最後に、例会において卓話をいただきました。財界さつぼろに掲載されている記事を基に、今年度の地区方針やガバナーがお考えになるロータリーについての所感などをお話いただきました。その中で特に感銘を受けましたのは、会員増強において、どんどん間口を拡げなければ先は開けない、という趣旨のお話です。ともすれば人がいないと嘆くばかりの常日頃ですが、自らの来し方を考えれば、出来上がった人材のみを求めるとは旧弊に縛られすぎているのではないかと、このことでもあったように思います。今後、この度与えられた多くのご示唆を日々の活動に活かしてゆく所存です。



当別ロータリークラブ 10月4日

10月4日(火)武部ガバナー、枝廣ガバナー補佐、池田地区幹事、前田ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問例会が開かれました。

クラブ協議会では、武部ガバナーからは「28人の会員数に14の委員会は多いのでは?」とのご指摘をいただきました。「ロータリーの魅力は年代を超えた友人ができること」「会員増強はロータリークラブがどんなに素晴らしいかを語るよりも、この町を廃れさせないためにどうしたらいいのか君の意見を聞かせて欲しい」と、若者に問いかけてみて下さい、とのお話が印象に残りました。

最後の言葉も、「財団や米山寄付は有り難いですが、それ以上にこの当別に何ができるのかを考えて活動して下さい」と、最後まで今年度の地区テーマの「地域と共に」を貫いた、ガバナーの思いが伝わるお話を頂きました。



北広島ロータリークラブ 10月4日

当北広島ロータリークラブでは、地区大会の翌々日である10月4日(火)に、武部ガバナー、高木ガバナー補佐、堀元地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が実施されました。当日は、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、クラブ例会を通じて、当北広島クラブの委員会のあり方(CLP)について、武部ガバナーより、アドバイスをいただきました。次年度以降の当北広島ロータリークラブの委員会組織のあり方について参考にさせていただきます。

また、それまで間接的にしか耳にしていなかった第2510地区でのグループの再編について、武部ガバナーから直接お話しを聞く機会を得ることができました。今後、北広島ロータリークラブ内でも議論を進めていく際の参考になると思います。また、武部ガバナーには、本公式訪問で多くのアドバイスをいただいた上に、当クラブで10月30日に予定されているポリオ撲滅を目的としたフリーマーケットに品物まで提供していただきました。本報告の提出が遅れている間に、同フリーマーケットも無事終了いたしましたことをここで報告させていただくとともに、厚くお礼申し上げます。



札幌ロータリークラブ**10月5日**

10月5日(水)は、当クラブの重大行事の一つであるガバナー公式訪問の日でありました。武部實ガバナー、竹原巖第4グループ担当ガバナー補佐、橋本耕二地区代表幹事の皆様を、緊張感をもってお迎えをいたしました。

午前10時より当クラブ例会場であり、札幌グランドホテルにて加藤会長、橋本幹事、相茶会長エレクトを交えての会長・幹事懇談会が開催され、加藤会長から当クラブの活動状況、会員増強などの報告がありました。武部ガバナーからは地区の新たな取り組みや、地区内グループ再編の考え方、会員増強の考え方など様々なご示唆を戴きました。また、その3日前に開催された地区大会についての感想や、運営上のお話など、2年後には地区大会を担当する当クラブにとって参考となるお話も戴きました。

午前11時から、理事、役員、各委員長のもとクラブアッセンブリーが開催され加藤会長、武部ガバナーよりご挨拶、加藤会長よりガバナー紹介後、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年担当理事よりそれぞれの活動計画と現状報告がなされました。

その後、武部ガバナーからの会員増強について質疑があり、竹原ガバナー補佐、橋本地区代表幹事からそれぞれ感想を戴いた後、武部ガバナーより講評をいただきました。職業奉仕委員会の担当であります「若い人と語ろう会」という会員企業の若手社員を集めて外部から講師を招いての勉強会や懇親会を開催していること、国際奉仕委員会が担当している北海道インターナショナル・スクール奨学生に対する補助事業等に高い評価を頂き、クラブアッセンブリーを終えました。午後12時30分、会員からの歓迎の拍手を受けながらの武部ガバナー入場後、点鐘とともに例会が始まり、当クラブが受賞したRI会員増強賞、ロータリー財団寄付優秀クラブの感謝状、表彰状披露の後、武部ガバナーの講話を戴きました。「広報活動の新たな手法、会員増強のお願い、企業とロータリアンの関係について」など多岐にわたり情熱のこもったお話を頂き、会員一同熱心に聞き入りました。

武部ガバナーのロータリーに対する情熱と、力強いリーダーシップを感じさせて頂いた卓話であり、その余韻を残した中で例会は終了いたしました。武部ガバナーに心より感謝申し上げ、報告いたします。誠にありがとうございました。

**札幌東ロータリークラブ****10月6日**

10月6日(木)ガバナー公式訪問を受けました。武部ガバナー、石黒ガバナー補佐および橋本地区代表幹事にクラブ協議会およびクラブ例会に参加して頂きガバナー方針の地区目標「地域と共に」の具体的なお話を頂きさらに「クラブの現状を分析しロータリーの公共イメージと認知度向上につなげるよう」と述べられました。武部ガバナーの御尽力で財界さっぽろに毎月2ページにわたりロータリーについての報道がされている理由が理解できました。

地区大会については会員一人一人に説明理解を求め、86名の会員と奥様方22名、インターアクト等25名、合計133名の登録をさせていただきました。

続いて当クラブの現状を説明しました。132名の会員の内訳は入会5年未満が34%、5年から15年が23%、15年以上が42%であります。

具体的な運営については①前年度からの試みで歴代の会長経験者の御苦勞を卓話で話してもらう。新会員の卓話機会を増やす等の企画は評価が高いようです。②FSMを積極的に働きかける。さらに③情報伝達・記録を担う会報を活用しマンスリーメモと称して基本的なルールを伝えるようにしました。④米山梅吉記念館の訪問は日本ロータリーの原点を知る事が出来ますので入会間もない会員とロータリーを熟知した会員との寝食ともに交流する機会として企画しています。これらは退会防止策でもあります。⑤財団100周年を記念して青木会員が「財団を学ぶ」と題して5回にわたり情報提供をしています。財団の歴史・使命・課題・ポリオ撲滅と、かなり内容の豊富な企画です。財団委員会が張り切っています。⑦一人親家族との「月寒川にぎわい川まつり」、障害者施設である「花園学院との交流」など社会奉仕委員会も積極的に活動しています。⑧交換学生については本年度・次年度と実現できることになりました。従来継続していた米山奨学生については今年度は途切れました。

当クラブも近々に60周年を迎える事を意識して活動しています。現状報告に続いて「東京以北最大のクラブとして益々発展するよう」武部ガバナーからお褒めと激励をいただきました。

10月1、2日の地区大会を盛大に終えて間もない公式訪問でした。お疲れさまでした。

**栗山ロータリークラブ****10月11日**

10月11日(火)栗山ロータリークラブが心待ちにしていた武部ガバナーが無事到着した。途中高速道路が交通事故で通れなかったと気をもまれたようである。あの大成功裡に終了した第2510地区大会から一週間後、お疲れの様子が微塵もなく、滔々と重要なことを話された。

ロータリークラブは、①会員増強は、社長など肩書きで声かけをするのではなく、奉仕の精神で活動できることが大切である。②地域のやんちゃで意欲のある若者が入りやすい雰囲気を作ることである。③世界の困っている人たちに少しでも彼らより豊かな人たちが入るのがロータリークラブである。④新しいことを広げることより、現状で取り組むことを最優先とする。

武部ガバナーは、建設関係の仕事柄栗山町の役場など公共工事を手掛け、その時の栗山の業者との出会いが、ロータリアンとしてまた再会できたことを懐かしがっていた。ロータリークラブが、人とのつながりを大切に掲げる感動的なシーンであった。

**札幌はまなすロータリークラブ****10月11日**

10月11日(火)、武部實ガバナー、竹原巖ガバナー補佐、荒井竜一地区幹事をお迎えてガバナー公式訪問が催されました。

午後4時からの会長・幹事懇談会では、当クラブの現状や方針を説明させていただきました。武部ガバナーからは、例会場付近の商店街などに働きかけ、地域奉仕がもっと出来ないかとの指摘をいただき、地区活性化についての提案もなされました。

午後5時からクラブ協議会に移り、各委員長から活動方針等説明、新入会員4名の紹介の後、武部ガバナーから講評をいただきました。

午後6時からの夜間例会では、武部ガバナーから約30分卓話をいただきました。卓話では、ロータリーを活性化するには、より知ってもらうにはどうしたらよいかについてお話があり、赤平、妹背牛等各ロータリークラブの実例の紹介がありました。

一日を通して、武部ガバナーのロータリーに対する考え方に直接接することができたとともに、少人数ながら全会員で活動に取り組んでいる姿勢について褒めていただくなど、非常に有意義な一日となりました。

**札幌真駒内ロータリークラブ****10月12日**

10月12日(水)、武部實ガバナーの公式訪問が無事に終了しました。武部ガバナー、石黒ガバナー補佐、橋本地区代表幹事にお越しいただき、午前10時から会長・幹事懇談会、午前11時からクラブ協議会、午後12時半からはガバナー公式訪問例会と順調に進みました。クラブ協議会ではそれぞれの委員会の活動計画を各委員長に発表していただきガバナーからそれぞれについて講評をいただきました。

例会は、当クラブ恒例の全会員との握手でスタートし、ガバナーの卓話の冒頭ではこれまでに公式訪問で回られたクラブの中で当クラブのような、もしくはもっと家庭的な人数のクラブが多いと感じたこと、またそのような小さなクラブでもそれぞれのクラブに見合った奉仕活動をされていて素晴らしいと感じたことをお話されていました。ご自身の掲載された財界さっぽろ7月号の内容にそって補足を入れながらお話をいただきましたが、ロータリークラブの在り方について、この先クラブが存続していくためのご自身のお考えを熱く語られました。「ロータリーかぶれ」になって自己満足の奉仕活動になっていないか、また会員増強に於いても知らないうちに同じ肩書きの仲間を探していないか、もっと広い目で年代を越えた友人を探すべきだとおっしゃっていたのが印象的で、当クラブに於いても今一度社会奉仕の在り方や会員増強について見直すよい機会となりました。

武部ガバナー、石黒ガバナー補佐、橋本地区代表幹事におかれましては、公式訪問も終盤となったお忙しい中、当クラブをご訪問頂きありがとうございました。



江別ロータリークラブ 10月13日

地区の改革を推進する、また、1000人規模のフレンチフルコースなど素晴らしい地区大会を開催された後のガバナー公式訪問となりました。

10月13日(木)、武部ガバナー、枝廣ガバナー補佐、橋本地区代表幹事、前田ガバナー補佐幹事を例会場である江別市民会館にお迎えしました。

午前10時より、会長エレクト、副幹事も参加して会長・幹事懇談会を開催。会長がクラブの歴史、会長方針、クラブの現況など説明しました。武部ガバナーより、委員会の多さ、地元にある4大学と米山奨学生でもっと関わられるのでは、また、地元のボランティア団体と協力していく奉仕活動のあり方など、大変に貴重なご意見をいただきました。その後、クラブ協議会を開催。各委員長より今年度の活動計画と実行状況の説明が行われました。例会欠席者に出している例会内容をコンパクトにまとめたハガキ(出席委員会)を大変お褒めいただきました。また、財団や米山への寄付についても示唆に富んだお話を伺いました。

公式訪問例会では、財界さっぽろの掲載資料を配付していただき、ロータリーについてお話いただきました。全員で記念撮影して無事終了しました。公式訪問ありがとうございました。

**札幌大通公園ロータリークラブ 10月14日**

10月14日(金) 武部ガバナー、石黒ガバナー補佐、橋本地区代表幹事を迎えて、当クラブより出口会長ほか3人(小笠原、菅原、福留)が参加してのガバナー公式訪問が行われ、当クラブについて現状、奉仕活動をご説明いたしました。クラブの会員数11月1日現在、男性11名、女性1名の計12名で活動いたしております。特に奉仕活動については毎年夏に行われている大通公園でのポリオ街頭募金活動、秋の献血活動は会員全員が参加して活動している事を報告いたしました。

午後6時より武部ガバナーから、財界さっぽろにて掲載された「ロータリークラブの真髄」について、今後のロータリーのあるべき姿について熱く語っていただきました。

午後6時30分より「ほっとパーティ例会」で出口会長の奥様の手料理にて楽しいひと時となり、また会員増強についての貴重なアドバイスをいただきましたので早急実践していく所存でございます。

例会終了後に武部ガバナー、石黒ガバナー補佐、橋本地区代表幹事を囲み、また留学生2人も加わり記念写真を取り終了となりました。

**札幌西ロータリークラブ 10月18日**

10月18日(火)に、武部實ガバナー、竹原巖ガバナー補佐、橋本耕二地区代表幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が和やかに開催されました。69クラブ中、当クラブは67番目の訪問でした。武部ガバナーは、これまでの公式訪問で地域と密着して活動している様子がよくわかり、今後も「地域と共に」北海道の活性化に役立つ活動が必要と述べられました。

クラブ協議会の活動報告では、特に活発に活動している乳がん検診率向上のためのピンクリボン運動への協力、全国的にも活躍している音楽クラブの活動をはじめ、各委員長から報告させていただきました。武部ガバナーからは、音楽が中心でクラブ全体が仲良くまとまっていることや、女性会員が8名と多く、人にやさしくハートがあると感じたが、仲良し過ぎると会員増強の壁となるので、幅広い人材を会員に迎えるようにとご意見をいただきました。引き続き、例会のガバナーの卓話では、地区の組織改革についてのお考えをはじめ、非常にわかりやすく率直に話され、ロータリークラブの活動の在り方について改めて考える有意義な機会となりました。会員一同心より感謝とお礼を申し上げます。

**森ロータリークラブ 10月19日**

10月19日(水)に武部ガバナー、稲葉ガバナー補佐、橋本地区代表幹事の3名をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。

当初、ガバナー公式訪問は8月31日に行われる予定でしたが、前日の台風10号の影響で森町内全域が停電となり、夜からの公式訪問を開催するのは無理と判断し、急遽中止とさせていただき、災害の為とはいえ迷惑をおかけいたしました。

午前9時30分より会長・幹事懇談会が行われ、当クラブの特徴などの話題で予定時間ぎりぎりまで有意義な意見交換をすることができました。午前10時30分からのクラブ協議会では今年度の活動計画を説明させていただき、講評では数年前より導入したCLPの委員会構成にお褒めの言葉を頂きました。

午前11時30分より例会が行われ、とても和やかな雰囲気の中食事を楽しみ、その後ガバナーより卓話を拝聴し、今年度ガバナーが目指す「地域と共に」の方向性を示していただきました。

朝一のJRで当クラブの例会のために来ていただき、例会終了後すぐに札幌に戻らなければならないとの事でまさにトンボ帰りの公式訪問となりお疲れになったと思いますがありがとうございました。

**札幌南ロータリークラブ 10月24日**

10月24日(月)に、約4カ月にわたる69カ所の最後を飾るガバナー公式訪問が、札幌パークホテルで行われました。会長・幹事懇談会、クラブ協議会後例会場にて、武部ガバナーのご挨拶の中に、札幌南ロータリークラブの伝統である「なごやぎの精神」を貫き、「ロータリー馬鹿」にならず、淡々とロータリーを楽しんで、それなりに「奉仕」活動に加わり、ことある時には一致団結する「姿」こそ、「都市型ロータリークラブ」の典型かなと、お話しがありました。また、30名に満たないクラブが全体の半数以上を占める中、多くのクラブが地域の皆様と一丸となって、地域の発展にご尽力されている姿に接し、ロータリーが与えるだけの活動ではなく、地域の方々と共に活動することによって「ロータリーの意義と存在」を知っていただくことが重要とも述べられ、当クラブの活動方針に大いなる示唆を与えていただきましたことに感謝申し上げます。まだまだガバナーの責務は続きますので、どうか御体ご自愛くださいませ。



11月7日、長万部町災害避難場所に指定されている乗蓮寺にソフトベンチを寄贈致しました 長万部RC 赤塚 章

普段日常では近隣のお年寄り、子供たち、身障者の方々が集う場所でありながら座る場所がないと思われ災害以外でも使用できればと思われ寄贈するにあたりました。軽量で持ち運びが楽なうえ折り畳み式なので収納する際には重ねて置くことができますのでその都度用途により使いこなせる万能ベンチです。

また、ベンチのサイド部分にはロータリーのロゴマークを入れました。贈呈時には大変喜ばれていました。そして、武部ガバナーの方針の1つである「地域と共に」のコンセプトに準じ贈呈致しました。



米山奨学生のご紹介

ロータリーで、相互理解を深める 王 瞻 第2510地区：北海道大学大学院 中国・札幌清田RC

私は、王瞻と申します。北海道大学大学院、国際広報メディア・観光学院博士3年生です。今年度から国際ロータリー第2510地区（北海道西部）の札幌清田クラブに所属となり、支援を受けながら、沢山のクラブ活動に参加させていただいております。

私は、若いうちに海外生活を経験することで、自分の視野を広げ、「比較」することが非常に重要だと感じております。中国語では、「森の中には、森を見えず」ということわざがあります。私にとって日本に留学することは、母国という「森」から離れ、自分の世界観を客観的に見つめ直す貴重な機会です。

ロータリークラブの活動に参加し、日本社会のあり方を理解しつつ、日本の皆様の日中友好に対する願望も深く感じました。

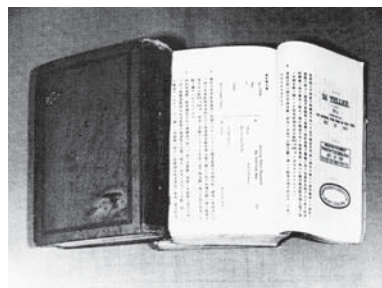
ロータリーにご支援をいただくことで研究に専念でき、感謝の気持ちがいっぱいです。そしてさらに、人類に奉仕し、世界平和や異国の相互理解を深めるため、ロータリアンの方々と共に沢山の有意義な活動に参加することができて、とても光栄だと思います。これからも、何卒宜しくお願い申し上げます。



米山梅吉記念館便り

シリーズ④ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、アメリカの大学卒で演説は上手、英語自在で男前、入行1年で神戸支店次席になり、欧米銀行業務視察の出張命令が下りました。欧米視察は約1年に及び、池田成彬、丹幸馬とアメリカ、ロンドンなどを巡回しました。実習調査して得た知識は「三井銀行欧米出張員報告書」として作成、この報告書は三井銀行だけではなく、今に至るまで他行も参考にするほどの成果でした。以後、大阪支店次席から大津支店長、横浜支店長、大阪支店長、明治42年に常務取締役役に就任、そして55歳で三井信託銀行を創業するまで27年間銀行人として活躍しました。



三井銀行欧米出張員報告書(さくら銀行)

米山梅吉 関連図書 の紹介

文庫判
谷内宏文著
本文369ページ
890円



点描 米山梅吉 新風舎刊
「米山梅吉伝」をふまえ、さらに新しい視点から米山の人物像に迫った1冊です。特に金融界での活躍や、三井報恩会での事業について深く掘り下げた、奉仕の人米山梅吉を知る格好の好著です。現在は一般書店では手に入らず、米山記念館のみで取り扱い中です。

米山梅吉記念館へのご来館歓迎
クラブの移動例会、個人でのご来館歓迎。日本のロータリー創設者米山梅吉の生涯、奉仕活動、社会貢献や根幹にあるロータリー精神を、学芸員の解説でより深く知ることができます。

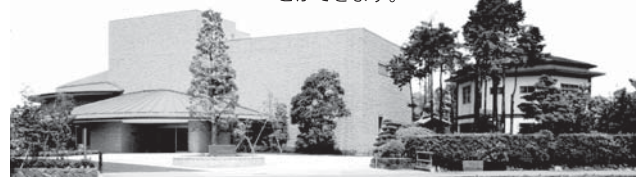
米山梅吉記念館のホームページが新しくなりました。

米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させました。2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルしたものです。ぜひご覧ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL: <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

深川RC	成田 昭彦 会員(6回)	10月28日
羽幌RC	大橋 鉄夫 会員(1回)	10月18日
美唄RC	井門 英明 会員(11回)	10月31日
美唄RC	吉村 誠治 会員(11回)	10月31日
美唄RC	岸山 一郎 会員(1回)	10月31日
美唄RC	早河 常機 会員(1回)	10月31日
札幌東RC	遠藤 正史 会員(1回)	10月31日
札幌東RC	出倉 恵隆 会員(1回)	10月31日
札幌東RC	白石 正勝 会員(21回)	10月31日
札幌東RC	竹内 俊朗 会員(1回)	10月31日
札幌南RC	今井 國雄 会員(6回)	10月31日
札幌南RC	クリステン・抄 会員(14回)	10月31日
札幌南RC	佐藤 源五郎 会員(12回)	10月31日
七飯RC	宮村 拓郎 会員(4回)	10月6日
函館東RC	池垣 清信 会員(29回)	10月25日
白老RC	加藤 信雄 会員(2回)	10月27日

米山功労クラブ

深川RC	16回	10月28日
札幌東RC	44回	10月31日
白老RC	1回	10月27日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	石川 士史 会員(2回)	10月27日
羽幌RC	成澤 卓爾 会員(3回)	10月27日
羽幌RC	忠津 章 会員(1回)	10月27日
札幌西北RC	西岡 憲廣 会員(8回)	10月31日
札幌真駒内RC	佐藤 泰彦 会員(1回)	10月28日
札幌南RC	松家 治道 会員(3回)	10月27日
札幌南RC	平 昌夫 会員(3回)	10月27日
札幌南RC	富樫 昭夫 会員(1回)	10月27日
倶知安RC	石本 達雄 会員(1回)	10月26日
函館五稜郭RC	石坂 仁 会員(4回)	10月3日
函館北RC	吉田 勤 会員(2回)	10月26日

ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	地島 耕二 会員	10月27日
羽幌RC	立野 英俊 会員	10月27日
羽幌RC	梅田 初男 会員	10月27日



★ハイライトよねやま200号★

2016年11月14日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

《今月のピックアップ記事》

写真をお大募集しています！— 財団設立50周年記念誌 —

ロータリー米山記念奨学会では2017年、財団設立50周年を迎えるにあたり、記念誌を発行します。皆さまのお手元に、米山記念奨学事業の沿革や歴史に関わる写真、「米山」の素晴らしさを捉えた写真など、記念すべき一枚がありましたら、ぜひお送りください。応募いただいた写真の中から、50周年記念誌に掲載させていただきます。ご協力よろしくお願いいたします！

【締め切り】
2017年1月20日(消印有効)

【送付要領】
応募者氏名と連絡先を明記の上、撮影年月、写真に関する簡単な説明メモを添え、できる限りデジタル化した画像を下記メールアドレスにお送りください。郵送の場合は当会でデータ化した後、ご返却します。

【注意事項】
・応募された写真の肖像権ならびに著作権について、当会は一切の責任を負わないものといたします。応募写真の著作権は撮影者に帰属しますが、当会では無償で利用する権利を許諾いただいたものとします。
・50周年記念誌のほか、当会発行の印刷物やビデオ、ホームページ、公式フェイスブックページなどで使用させていただくことがあります。
・掲載に際し、トリミング等のデータ加工をする場合があります。

【送付先】
メール: highlight@rotary-yoneyama.or.jp 郵送: 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
ロータリー米山記念奨学会・広報担当宛て

記事の続き、および、そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight200_pdf.pdf

新会員の紹介

(敬称略)



札幌北RC
遠藤 亘
10月31日
電気配線工事



伊達RC
阿部三紀夫
11月1日
看板製作



伊達RC
須貝 勉
11月1日
機械及び装置



室蘭北RC
吉田 隆
11月1日
非破壊検査



苫小牧RC
小林 一夫
11月4日
信用金庫



札幌北RC
林 美英
11月21日
信用金庫

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



中川 洲平 会員(函館北RC)
2016年10月14日ご逝去(享年84)
【ロータリー歴】
1978年4月19日入会
1984-85年度 幹事
1997-98年度 会長
他、各委員長歴任
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3回)
米山功労者マルチプル(3回)
永年出席100% 35年表彰



西井 勝明 会員(滝川RC)
2016年11月19日ご逝去(享年77)
【ロータリー歴】
2007年2月22日入会
2015-16年度 会長エレクト
2016-17年度 会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

札幌大通公園RC 例会の変更について

2017年1月より例会を第1、第3の金曜日(月2回)に変更いたします。例会開始時間を18時30分から19時30分に変更いたします。会場は変更ありません。宜しくお願い致します。

Rotary Zones 1&2&3 コーディネーター NEWS

2016年12月号
発行:Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 1 RC

■ 会員増強のためのリソースを利用しましょう

地区においても、クラブにおいても会員増強と維持は最も重要な取り組みの一つです。会員が増加されると新しいアイデアが生まれ、クラブの活動の幅が広がります。つまり、元気で活力あるクラブになります。逆に会員が減少するとクラブの活力が失われます。国際ロータリーでは会員の増強と維持のために様々な参考になる資料を用意してあります。

- **クラブの健康チェック**: クラブが地域社会にとって大切な存在であり続けるために、クラブを定期的に診断ツール。
- **会員増強ガイド: 地域にあった計画を立てよう**: クラブ会員基盤の発展に向けた戦略ガイド。
- **会員増強のための評価ツール**: クラブの現状評価ツール。
- **奉仕と友情の輪を広げよう**: ロータリーに積極的に参加するためのさまざまな方法を紹介
- **入会候補者情報プログラム**: 入会者探しのお手伝い
- **元気なクラブづくりのために**: 活気あるクラブをつくるためのベストプラクティスを紹介

これらの資料はロータリーのホームページ(My ROTARY)から次の順序で進むと得ることができます。

ラーニング&参考資料 | 主題別 | 会員増強

不都合な時は次のアドレスを直接入力してください。

<http://www.rotary.org/myrotary/ja/learning-reference/learn-topic/membership>

(Zone 1 RC 酒井正人)

	クラブ数	会員数
Zone 1	830	28,699
Zone 2	651	28,187
Zone 3	793	32,944
合計	2,274	89,830

(2016年11月7日現在のClub Centralのデータです)

■ 第1、2、3ゾーンの公共イメージコーディネーター(RPIC)は各クラブが実施した奉仕プロジェクトが紹介された新聞記事を集め、その内容をインターネット上で閲覧できる仕組みを構築しています。ロータリーの友10月号にも投稿された記事が紹介されています。記事の投稿と閲覧は rpcjapan@gmail.com に件名を「詳細希望」として空メールを送信してください。手続きに関する詳細が自動送信されます。



地区カレンダー(12月・1月)

12月 疾病予防と治療月間	
1(木)	ロータリー研究会(名古屋)
2(金)	
3(土)	2017-18年度地区ガバナー補佐会議(函館)
4(日)	
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	
11(日)	
12(月)	
13(火)	
14(水)	
15(木)	地区ガバナー指名委員会(札幌)
16(金)	
17(土)	
18(日)	
19(月)	
20(火)	
21(水)	
22(木)	
23(金)	天皇誕生日
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	
30(金)	
31(土)	

1月 職業奉仕月間	
1(日)	元日
2(月)	振替休日
3(火)	
4(水)	
5(木)	
6(金)	
7(土)	
8(日)	2017学年度米山奨学生選考試験(札幌)
9(月)	成人の日
10(火)	室蘭北RC創立45周年記念式典(室蘭)
11(水)	
12(木)	
13(金)	
14(土)	
15(日)	～21(土)国際協議会(米国・サンディエゴ)
16(月)	
17(火)	
18(水)	
19(木)	
20(金)	
21(土)	
22(日)	
23(月)	
24(火)	
25(水)	
26(木)	
27(金)	
28(土)	
29(日)	
30(月)	
31(火)	

2016年12月のロータリーレート 1ドル106円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率	
			2016.7.1	2016.10.31	増	減		内女性
1	深川	3	34	34	0	3	80.99	
	羽幌	4	46	46	0	2	86.41	
	妹背牛	4	9	9	0	0	94.44	
	留萌	4	38	38	0	3	73.49	
	小計		127	127	0	8	83.83	
2	赤平	4	25	26	1	1	84.52	
	芦別	4	34	34	0	2	83.33	
	砂川	4	39	38	-1	0	95.14	
	滝川	4	83	87	4	4	75.00	
	小計		181	185	4	7	84.50	
3	美唄	4	30	29	-1	0	85.29	
	江別	5	33	33	0	1	90.91	
	江別西	4	28	28	0	3	95.50	
	岩見沢	4	78	76	-2	0	97.30	
	岩見沢東	2	21	21	0	3	89.12	
	栗沢	4	20	20	0	1	94.70	
	栗山	4	27	27	0	5	98.08	
	当別	3	28	28	0	0	93.77	
	小計		265	262	-3	13	93.08	
	4	札幌	3	120	127	7	1	98.35
札幌はまなす		4	18	20	2	3	92.50	
札幌北		4	36	41	5	4	93.95	
札幌モーニング		3	37	37	0	0	85.08	
札幌西		3	48	48	0	8	80.82	
札幌西北		3	33	34	1	3	78.30	
札幌手稲		5	39	41	2	4	89.46	
小計			331	348	17	23	88.35	
5		札幌東	4	128	132	4	0	98.18
		札幌清田	4	15	15	0	4	100.00
	札幌幌南	5	68	68	0	11	99.69	
	札幌真駒内	4	23	23	0	5	100.00	
	札幌南	4	84	84	0	2	96.73	
	札幌大通公園	3	12	12	0	1	58.00	
	新札幌	4	23	24	1	3	87.17	
小計		353	358	5	26	91.40		
6	岩内	4	20	21	1	1	89.29	
	倶知安	4	41	42	1	5	82.14	
	小樽	4	75	76	1	3	86.67	
	小樽南	4	67	69	2	3	84.35	
	小樽銭函	4	17	17	0	1	92.00	
	蘭越	4	10	10	0	0	90.00	
	余市	4	42	43	1	3	85.90	
小計		272	278	6	16	87.19		

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,534人
当月末会員数(女性)	2,598人(149人)
増加会員数	64人
当月平均出席数	84.47%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2016.7.1	2016.10.31	増	減	
7	千歳	4	58	63	5	5	77.73
	千歳セントラル	4	39	42	3	6	79.76
	恵庭	4	48	51	3	3	75.55
	北広島	5	19	19	0	1	78.83
	長沼	2	18	18	0	3	66.66
	由仁	2	6	6	0	0	83.33
	小計		188	199	11	18	76.98
8	えりも	2	18	17	-1	1	100.00
	三石	4	12	12	0	1	77.50
	様似	2	21	21	0	1	66.67
	静内	4	68	69	1	3	61.20
	浦河	4	23	27	4	2	75.93
	小計		142	146	4	8	76.26
	9	伊達	3	55	58	3	0
室蘭		4	35	36	1	1	83.31
室蘭東		3	32	34	2	0	76.50
室蘭北		4	42	42	0	3	70.24
登別		3	29	29	0	1	82.76
洞爺湖		4	9	9	0	0	84.30
小計			202	208	6	5	80.74
10	函館	4	76	82	6	0	78.28
	函館亀田	4	42	41	-1	4	83.75
	森	4	36	36	0	0	75.00
	七飯	4	13	13	0	0	75.00
	長万部	3	8	8	0	0	66.60
	函館セントラル	4	19	21	2	2	73.81
	小計		194	201	7	6	75.41
11	江差	4	11	11	0	1	75.00
	函館五稜郭	4	47	50	3	0	84.31
	函館東	4	45	46	1	5	72.73
	函館北	4	22	21	-1	0	96.12
	北斗	5	13	13	0	0	83.00
	小計		138	141	3	6	82.23
	12	白老	3	34	32	-2	3
苫小牧		4	53	57	4	3	83.23
苫小牧東		4	26	27	1	5	91.67
苫小牧北		4	28	29	1	2	96.08
小計			141	145	4	13	87.75
合計			2,534	2,598	64	149	84.47

※札幌南RCには札幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員6名)を含む



アトランタで 一緒に祝おう

アトランタでの今大会は、皆さんのロータリーキャリアにおいて最高のイベントとなるでしょう。祝うことはたくさんありますが、特にロータリー財団100周年を祝うのに、財団が生まれたこの街ほどふさわしい場所はありません。アトランタは、私たち夫婦が大好きな街であり、アメリカ南部の温かいおもてなしが気に入っています。感動、楽しみ、そして新たな友人を得るために、アトランタにお越しください。一生に一度のこの機会をお見逃しなく！

John Judy

国際ロータリー会長
ジョン・ジャーム
(妻ジュディ)

大会へのご登録は
riconvention.org/jaから



ロータリー国際大会
米国ジョージア州・アトランタ
2017年6月10日～14日

表紙の解説



- ①第2510地区 2016-2017 武部貴ガバナー 地区大会での挨拶。
- ②国際ロータリー会長代理 小井修様 ご挨拶。
- ③青少年・学友・RYLAプログラム。
- ④ミズノ株式会社社長 第2580地区パストガバナー 水野正人様 「日本のロータリー100年と200年東京五輪のレガシー」講演。
- ⑤右側：塚原房樹パストガバナー 左側：国立金助ガバナーエレクト 中央：札幌手稲RC 宇野会員

文庫 通信

(350号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(5) [下記申込先：ロータリー文庫]

「ロータリーに関する十四の断章」 松井幸雄 東京千種会 1973 147p
「ロータリーの道しるべ」 長崎南R.C. 1987 128p
「新会員のための『ロータリー情報』」 東京江東R.C. 1988 20p
「ロータリー・チャンネル」 長崎南R.C. 1992 44p
「ロータリー情報 広報ABC」 油木恒久 朝霞R.C. 2000 93p
「ロータリーへのご案内 2001年版」 長岡成郎 2001 43p
「ようこそ・ロータリーII ロータリーが10倍楽しくなる」 青森北東R.C. 2005 24p
「これだけは知っておきたいロータリーの基礎知識」 浦和R.C. 2010 74p
「ロータリーの日常の知識」 三木 明訳 2010 83p
「ロータリーの心と実践 2012年改訂版」 D.2660 2012 103p

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日